

SAKUらいぶ 63号

図書館だより



平成27年12月号

作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館

[内容]

- ・私の大学時代
- ・これキテます!
- ・SAKUらセレクト
- ・季を愛でる
- ・らいぶ Question
- ・図書館開館カレンダー

私の大学時代

作新学院大学経営学部 鈴木美沙都

「一人暮らしがしたい!」という一心で、大学は実家の群馬から遠く離れた“金沢”という街の山奥にある大学に進学しました。でも、なぜ金沢? 元々日本史が好きだったので、歴史と文化の香りを感じる街で暮らしてみたい(でも京都は遠すぎるし...)という理由で高校三年生の夏、安易に決めてしまったような...

大いなる夢と希望を抱いて大学生活をスタートさせたのですが、そこには数々の試練が待っていました。山の上のキャンパスまで毎日約3kmの登り坂を自転車で必死に上る通学スタイル、冬の部活動は陸上競技場の雪かき、バイト2つと部活動を掛持ちしてパンク寸前...。今思い返すと「よくあんなことやれたよな」と笑ってしまいますが、当時は若さ故に疲れというものを知らず、毎日全力で駆け抜けていました。

「また陸上の話? 走る事しかしていないじゃない。」偶に実家に帰ると、母親から必ず言われていましたが、いえいえ、そんなことないですよ! 大学図書館が大好きで、授業がない時間や部活動がない日は99%図書館にいました。図書館という本に囲まれた静寂な空間は、知的好奇心を駆り立ててくれると共に、日々の雑踏から離れて心を落ち着かせることができる素晴らしい空間です。そんな空間に、日々ジャージ姿で通い詰めていた私(笑)。懐かしい思い出です。



噂にフォーカス!!

これキテます!

中居正広という生き方

太田省一 著 青弓社 刊

SMAPの中居正広という人をテレビで見かけない日はないでしょう。歌番組・バラエティ・コマーシャルとその活動は多岐にわたり、最も売れている芸能人のひとりと言っても過言ではありません。

本書は社会学者である太田省一氏が、中居君の魅力に迫る一冊です。なぜ社会学者が注目する存在なのか。なぜ木村拓哉ではなく中居正広なのか。その理由は読み進めるうちに少しずつわかってきます。

SMAPは「ザ・ベストテン」「夜のヒットスタジオ」などの大型歌番組が放送終了になった1988年にデビューします。活躍の場をバラエティに求めましたが、それはそれまでのアイドルにはなかったスタイルでした。

中居君は十代の頃から司会役、いわゆるMCを担当し、タモリやとんねるずと番組を共にする中で着々と経験を積んでいきます。

現在彼がMCを受け持つ番組は週4本。実際にそれらを見てみると、ゲストの心情を聴き出し、レギュラー共演者を笑わせ、時には観覧中のファンにツッコむなど、スタジオを縦横無尽に動き番組を自在に操っています。それは天性の才能のように自然なものに見えます。しかし著者は、彼が日頃から心に留めたあらゆることをメモし、ノートに綴り、入念に準備した賜物であると書いています。

わざわざ“SMAPの”と断らなくても今や超有名な中居君。彼がアイドルとして、またエンターティナーとしてこれからも一層輝くであろうその理由がこの一冊には詰まっています。

巷で噂になっている本やアートにまつわる
コンテンツを紹介します。今回は社会学者が
書いた中居正広論。彼は実は勉強家？



SAKUらselect

～本学図書館にある珠玉の1冊を紹介します～



ここは退屈迎えに来て

山内マリコ 著 913.6/Ya

ふる里を捨てて上京するも、夢破れて地元へ帰る女たち。地元の町は、大型ショッピングモールの先に潰れかけた小さな商店が並び、相変わらず文化の「ぶ」の字もセンスの「セ」の字も無い。

それでもダラダラ暮らしてみれば案外居心地がよかったりして。次なる目標は「30前に結婚しなくちゃ」！！

地方ガールの憧れと焦燥を見事に書ききっています。なんだかなあのやるせない感じは「私のことを言ってるの？」と思わせること請け合い。栃木女子に是非読んでほしい一冊です。

季を愛でる

図書課長 野中千秋

鳩吹(はとふく)

両手を合わせて吹いて、鳩の鳴き声を出します。獵師が鹿を呼んだり、獲物を見つけたことを仲間に知らせたりする時に吹きました。また、秋が深まって山鳩がしきりに鳴くので、人間がそれを真似て吹き鳴らしたともいわれています。今日ではこのような光景はほとんど見うけられませんが、好ましい秋の季語です。

和歌では「鳩吹く秋」として恋心が詠まれることが多く、俳句では、寂寥感を込めて使うことが多くなりました。



鳩吹いてけものの山は鎮まりぬ

千秋

らいぶ Question

たじろがず沖縄に殉じた荒井退造 NPO 法人 菜の花街道 著 より

289/Ar

荒井警察部長がまず初めにやろうとした事は、沖縄の人たちの命を一人でも多く（①）ということでした。サイパンがだめになれば連合軍はすぐ沖縄に来るだろうということで、（②）が急がれていました。本土決戦が迫っている沖縄の人たちを一人でも多く生き残ってもらうためにどうしたらいいかと考えた時に、疎開以外にはないという（③）を持つに至ったわけです。

図書館にある資料から出題します。答えはカウンターにある解答用紙に記入してください。全問正解で1ポイントです。今年度中に5ポイント集めた方には、記念品を贈呈します。



新着図書案内

荒井退造は宇都宮市清原地区の出身です。『たじろがず沖縄に殉じた荒井退造』には太田周学長が寄稿しています。また西田直樹教授が授業でとりあげています。図書館に2冊用意していますので、どうぞお読みください。

図書館開館カレンダー 12月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

9:00~18:00

9:00~13:30

休館日

~~~~~ 発行・編集 ~~~~~  
作新学院大学・作新学院大学女子短期大学部 図書館  
Tel 028-670-3651・3652  
Fax 028-670-3619  
E-mail [tosyo@sakushin-u.ac.jp](mailto:tosyo@sakushin-u.ac.jp)  
URL <http://www.sakushin-u.ac.jp/library/>

